

何のために「働く」のか

姜尚中

【原文】

(前略)

他者からのアテンション

社会の中での人間同士のつながりは、深い友情関係や恋人関係、家族関係などとは違った面があります。もちろん、社会の中でつながりも「相互承認」の関係には違いないのですが、この場合は、私は「アテンション(ねぎらいのまなざしを向けること)」というような表現がいちばん近いのではないかと思います。清掃をしていた彼がもらった言葉は、まさにアテンションだったのではないのでしょうか。

ですから、私は「人はなぜ働かなければならないのか」という問いの答えは、「他者からのアテンション」そして「他者へのアテンション」だと言いたいと思います。それを抜きにして、働くことの意味はありえないと思います。その仕事は彼にとつてやり甲斐のあるものなのかとか、彼の夢を実現するものなのかといったことは次の段階の話です。

そして、もう一つ言えば、このアテンションという「承認のまなざし」は、家族ではなく、社会的な他者から与えられる必要があるのだらうと思います。

自分自身に「私はなぜ働いているのか」と問うてみる必要があります。すると、いろいろ考えた挙げ句、他者からのアテンションを求めているから、という答えが返ってきます。お金は必要ですし、地位や名誉はいられないと言ったら嘘ですが、やはり、他者からのアテンションが欲しいのです。それによって、社会の中にいる自分を再確認できるし、自分はこれでいいのだという安心感が得られる。そして、自信にもつながっているような気がします。

人間というのは、「自分が自分として生きるために働く」のです。「自分が社会の中で生きていい」という実感を持つためには、やはり働くしかないのです。

※ 傍線部はリライト候補箇所として、発表者の追記

大修館書店『新編国語総合』一九六ページ
「何のために「働く」のか」姜尚中 より一部抜粋、
および改変(資料②リライト)

何のために「働く」のか A

姜尚中

- ・長い連体修飾節を、単文に
- ・語彙や表現の書き換え
- ・文体の調整 (である↓ます)
- ・ルビ
- ・重要語句は残す
- ・段落番号をつける

他者からのアテンション

⑬ 社会の中での人間同士のつながりは、深い友情関係や恋人関係、家族関係などとは違った面があります。もちろん、社会の中でのつながりも「相互承認」の関係には違いありません。しかし、この場合は、私は「アテンション」(ねぎらいのまなざしを向けること)「というような表現がいちばん近いのではないかと思います。清掃の仕事をしていた彼がもらった言葉は、まさにアテンションだったのではないでしょうか。

⑭ ですから、私は「人はなぜ働かなければならないのか」という問いの答えは、「他者からのアテンション」そして「他者へのアテンション」だと思えます。それが、働くことの意味の基本だと思えます。やり甲斐や、夢の実現などは、この次の段階です。

⑮ そして、もう一つ言えば、このアテンションという「承認のまなざし」は、家族ではなく、社会的な他者から与えられる必要があるでしょう。

⑯ 自分自身に「私はなぜ働いているのか」と聞いてみます。すると、いろいろ考えたあとで、他者からのアテンションを求めているから、という答えになります。お金は必要ですし、地位や名誉はいらないと言ったら嘘ですが、やはり、他者からのアテンションが欲しいのです。それによって、社会の中にいる自分を再確認できます。自分はこれでいいのだという安心感が得られます。そして、自信にもつながっているような気がします。

⑰ 人間というのは、「自分が自分として生きるために働く」のです。「自分が社会の中で生きていい」という実感を持つためには、やはり働くしかないのです。

何のために「働く」のか ワークシート8 年 組 名前

形式段落⑬～⑱を読んで、答えましょう

★問一 次のうち、「他者へのアテンション」はどれでしょうか。

- ア 落とした財布を交番に届けてくれたおじさんにお礼をした。
- イ 海外出張中の父親から「元気か？」というメールが届いた。
- ウ 毎日、学校の給食を作ってくれるおばさんに、感謝の言葉を言った。
- エ 誕生日プレゼントをあげた友だちからお礼の手紙が届いた。

★問二 筆者は、「アテンション」を他の言葉で言い換えています。七文字で抜き出さない。

★問三 ⑮段落、『承認のまなざし』は、家族ではなく社会的な他者から与えられる(もらう)必要がある」とあるが、それはなぜか。

理由を次のようにまとめた。()に入る言葉を形式段落⑮、⑯から抜き出して入れ、文を完成させなさい。

社会的な他者から を受けると、社会の中にいる自分を
 できる。また、自分はこれでいいのだという を得ることによって、
 にもつながっていくから。

問四 ⑰段落の始めについて、次の2つの表現を比べてみましょう。☹️

- ① 人間は、「自分が自分として生きるために働く」のです。
- ② 人間というのは、「自分が自分として生きるために働く」のです。

★問五 この文章で、筆者が言いたいことと合っているものをア～エから一つ選びなさい。

- ア 人は見捨てられたと思うことがあっても、仕事にやり甲斐があれば、がんばれる。
- イ 人が夢を実現するためには、深い友情で結ばれた親友を見つける必要がある。
- ウ 人は他者からのアテンションによって、社会の中の一人として自分を再確認できる。
- エ 人が自分らしく生きていくためには、働く目的を見つけないといけない。

日本語の古典「筒井筒」

年 組 名前

○日本語の古典の読み方にふれよう

☆歴史的かなづかい

「もろともにいふかひなくてあらむやは。」

は↓ ひ↓ ふ↓ へ↓ ほ↓ む↓

「筒井筒」「前裁のなかに隠れゐて、」

ゐ↓「 ゑ↓「 ※わ (う) を

○考えてみよう 現代と平安時代(十世紀ごろ)の日本の結婚文化

現代 結婚するまでは……

日本の平安時代 結婚するまでは……

★問 日本の平安時代の結婚文化について、どう思いましたか。思ったことを書きなさい。



○平安時代の恋愛と結婚（教科書263ページ・便覧63ページ）

通い婚 … 男のひとが、女のひとの家に通う。

一夫多妻 … 一人の男の人が何人も妻をもつことができた。

☆恋の始まり

垣間見 … 垣根の向こうから、女性をちよつとのぞくこと。

☆求愛と交際

和歌をつけた手紙を送る。↓女性が気に入れば、和歌と手紙の交換が始まる。

↓女性が許したら、男性が女性の家を訪ねる。↓御簾越しで侍女を通して会話する。

☆結婚

二人が結ばれると、「後朝の文」を送る。↓三日続けて女性の家へ行く。

↓三日目の夜に「三日夜餅」を食べて、「露頭」をして、結婚を発表する。

